

## 井原市教育委員会 2 月定例会会議録

1. 招 集 令和3年2月10日(水)
2. 開 会 令和3年2月15日(月)13時30分
3. 閉 会 令和3年2月15日(月)15時13分
4. 会議の場所 4階 403会議室
5. 出席又は欠席した委員

出席委員	教 育 長	伊 藤 祐二郎
	教育長職務代理	藤 井 秀 彦
	委 員	奥 田 隆 夫
	委 員	佐 藤 和 代
	委 員	西 田 友 美

欠席委員 なし

6. 会議に出席した職員

北村教育次長 平木学校教育課長 成智生涯学習課長 高田文化課長  
立花スポーツ課長 亀田教育総務課長補佐

7. 教育長が告示した議題

附議事項

### 【協 議】

令和3年度 教育行政重点施策について

8. 傍聴者 なし

9. 議 事

### (1) 開 会

- ・伊藤教育長が開会を宣言

ただ今から2月の定例会を開催いたします。

2月ですが、昨日はずいぶん暖かくて、春が来ているような気がしますが、また数日後からは冷え込んでいくようです。早く春になればと思っております。

それでは次第に沿って議事を進めてまいります。

### (2) 前回会議録の承認・公開について

【伊藤教育長】前回会議録の承認、公開について事務局から説明をお願いします。

【亀田教育総務課長補佐】前回1月定例会の会議録につきましては、既にご確認をいただいております。本会議終了後にご署名をいただきますので、よろしく願いいたします。

なお、附議事項のうち、議案第4号は人事案件のため非公開といたします。以上です。

【伊藤教育長】事務局から報告のあったとおり承認することとしてよろしいか。

— 全会一致で承認 —

【伊藤教育長】では、そのようにお願いします。

(3) 教育長の報告事項

【伊藤教育長】私の方から資料を1枚用意しておりますのでご覧ください。

— 資料により、令和2年度井原市文学賞作品のうち、児童生徒の特選作品の詩を紹介。

その後、晴れの国おかやままなび大賞で子ども達が地域のことを題材に学んでいる様子をビデオにまとめる取組みが行われ、100点の作品が集まり、井原市の学校では全ての学校に参加してもらい、県内で6点の優秀作品のうち3点が井原市の学校のものであったことを紹介 —

(4) 議 事

附議事項

【協 議】

□令和3年度 教育行政重点施策について

【伊藤教育長】それでは、本日の議題は協議事項のみとなっております。令和3年度教育行政重点施策についてを議題とします。事務局より説明をお願いします。

【北村教育次長】令和3年度教育行政重点施策につきましては、来年度執行する教育委員会内の事務事業のうち、重点的に取り組む事業をとりまとめるもので、今回の定例会では、内容について協議を行い、来月の定例会で議案として提出し、ご審議いただくこととなります。

承認を受けた後、新年度には教育委員会委員、各学校、関係団体に配布し、施策の情報共有を図るものです。また、第三者評価委員会で点検・評価する事務事業の対象となるものです。このあと各担当から体系ごとに重点施策の説明をさせていただきます。説明は体系ごとに区切って行い、委員さんからのご意見も体系ごとにいただければと考えております。

それでは、1ページ目から順次担当から説明いたします。

【亀田教育総務課長補佐】それでは、基本方針、施策の体系を説明いたします。

— 「基本方針」、「施策の体系」を説明 —

【伊藤教育長】ただいま説明のありました内容に対するご質問はありますか。

— 発言なし —

ご意見等ないようですので、続いて学校教育課の重点施策の説明をお願いします。

【平木学校教育課長】続きまして重点施策、「よりよい学校教育により、よりよい社会を創る」を説明いたします。

— 「よりよい学校教育により、よりよい社会を創る」を説明 —

【伊藤教育長】ただいま説明のありました内容に対するご質問はありますか。

【奥田委員】 6ページのわくわくイングリッシュスクールの具体的な取り組み内容は、どのようなものですか。

【平木学校教育課長】 具体的な詰めはできていない状況ですが、1日の開催にして、中学校の英語の先生や小学校の先生の参加が少なかった現状があるので、そのあたりを改善して、子ども達と何か活動ができればと思っております。

【伊藤教育長】 この事業は、中学生を対象とした事業でありましたが、小学校の教員の英語指導の上達の両面の意味があったと思います。そういう点では、英語の小学校での授業のあり方については、しっかりとした研修が良いのではないかとの意見もあり、キャンプについては、1日にしようという方向になりました。

【奥田委員】 対象は、教員も入るのですか。

【平木学校教育課長】 教員と中学校の生徒を対象としています。

【奥田委員】 英語が教科となってほぼ1年となっていますが、教員にとっても戸惑いもあったのではないかと思います。そのあたりの現状と課題はどうですか。

【平木学校教育課長】 今、外注でALTに来て頂いておりますが、その会社がALTにしっかり研修をされていますし、学校での評価も受けているので、学校としては、英語教育が随分改善しています。

【奥田委員】 現場からの要望はなにかありますか。

【平木学校教育課長】 ALTに頑張って頂いているので、うまくいっていると思います。

【奥田委員】 教員とALTがどのような関係で授業を組んでいくか、効果的な授業となるようになって、子ども達の興味関心が高まっていけば良いと思っております。

【藤井職務代理者】 井原“志”民力について、来年度で3年目になり、それぞれの校区で検討がなされていますが、教育現場で言えば学習指導要領が改定になり、教える量が多くなり、若い教員も増えてきており、学校の負担がゼロではなく、それだけのことが学校現場でこなせる力があるのかどうか心配です。

【平木学校教育課長】 基本的には、学校の教育課程の中で利用しているのが総合学習の時間で、学校ごとの特色を生かした自分たちでカリキュラムを組む授業がありますが、「ひとづくり事業」をこの授業に入れていきたいと思います。今は変化の年で先生方も大変だったかも知れませんが、今後はやるべき方向性が定まってきており、先生方もやり易くなるのではないかと思います。

【藤井職務代理】 井原“志”民力の育成ということで良いことだと思いますが、先生が内容や取り組む必要性を理解することが大切だと思います。先生も転勤などがあって、全く様子が分からない先生が赴任して、これをして下さいと言われても、そもそも論が分かっていなければ、形式的なものになっていく可能性があり、絶えず意識付けが必要だと思います。

【西田委員】 6 ページの地域での学習支援活動は、土曜学習以外の地域学習をする所としない所が出てきたことを踏まえてのことだと思いますが、新たにこういうものを立ち上げるということなのですか、それとも名称変更だけなのですか。

【平木学校教育課長】 地域によっては、普通の授業の中で地域の方を呼んでいる取り組みをやっており、それらを含めて地域での学習支援としてはどうかとの意見もあり、土曜学習に限らず日頃から学習の支援を頂いているものを含めて推進していけば良いとの考えによる変更です。

【西田委員】 今まであったものの総称という考えですか。

【平木学校教育課長】 はい、そのとおりです。

【西田委員】 今まで土曜学習に予算がついていて、人件費に充てていましたが、土曜学習を引き続き実施するところには、引き続き予算を出しますと聞いたことがあります、今後の予算的な面はどうなるのですか。

【平木学校教育課長】 この事業は、ひとつづくりの一括りの予算の中で進めていくことになっており、今までどおりの土曜学習を継続するのであれば、予算を充てるのが難しくなる予定です。土曜学習だけの予算は無くなっていく見込みです。

【佐藤委員】 土曜学習は学校教育課からの依頼であったものが、それがなくなって生涯学習課の事業になるのですか。

【平木学校教育課長】 窓口が変わっていくことになります。

【伊藤教育長】 1 2 ページには地域土曜学習サポート事業が記載されていますが、これも含めてふるさと井原の未来を創るひとつづくり事業のひとつとして、それぞれの協議会に委託をして、そのなかでのやり繰りになります。今までは、県の補助事業としてそのまま土曜学習サポート事業としてやってきておりました。これを県の補助事業でなくて委託のなかで各地区にあった形でやっていきたいと思いますということに変わってきています。土曜学習や放課後学習のねらいは、学力向上です。学力の向上を目的として岡山県教委が放課後であったり土曜日であったり地域の方の力を借りながら、学力を上げようとして取り組んできました。ところが、県の方も学力、テストの点だけで評価するのは、違うのではないかと。井原市の方は、ひとつづくり事業でやっているのです、学習だけではなく広い範囲で取り組んでいくというイメージになっています。

【西田委員】 放課後学習サポート事業というのは、ひとつづくりとは分けて学力向上として残るということですね。

【伊藤教育長】 そのとおりです。ただ、地域の方にもお手伝いを頂くということで、地域連携という意味では、ひとつづくりの部分と重なるところがあるのかなと思います。

【奥田委員】 地域での学習支援活動は、活動の場は地域ということですか。

【平木学校教育課長】 地域の方が学校に来て頂いたり、土曜日とか放課後では外でということが多くなってくるかと思っています。

【佐藤委員】地域毎で協議会があつてと説明がありましたが、まちづくり協議会が主でやっ  
ていくということですか。

【伊藤教育長】地域ごとに色々あつて、教育委員会が委託をしているのは、あくまでもひと  
づくりネットワーク運営協議会にお金を出している状況です。地域によってその組織が、  
まちづくりの中にある地域と、それぞれ別団体であるという地域もあると思います。

【西田委員】目指す方向性としては、一緒になるのですか、2本柱のような形になるのです  
か。

【伊藤教育長】今説明しているのは、ひとづくりもまちづくりも一緒に、組織としては、大  
きいまちづくりの組織の中にひとづくりの部門があるのいいのかなと思います。ただ、  
難しいのは、中学校については、小学校区ごとにまちづくり協議会はできている。とこ  
ろが中学校のひとづくりネットワーク運営協議会は、いくつかの小学校の協議会をまた  
ぐようになっているので、必ずしもまちづくりの中にひとづくりが入りにくい現状があ  
ると思います。

【佐藤委員】地域未来塾がなくなりましたが、理由が分からず、保護者もやっている人も継  
続して頑張ってきていたがなくなって、最近必要だと言われています。

【伊藤教育長】地域未来塾とか土曜学習サポート事業は、県のひも付きであった部分が切ら  
れている現状があります。ですが活動としては、必要だからやっていこうというのは、  
ひとづくネットワーク運営協議会の方で、委託しているお金の中でやって頂くというこ  
とになるのかなと思います。

【奥田委員】生徒指導の関係で不登校の出現率が下がってこない問題もあるんですが、別室  
指導員を置いてみて効果はどうですか。

【平木学校教育課長】登校支援員だけでなく、学校に来た子たちがワンクッションおけるこ  
とがありがたいとの感想を学校からは頂いています。来年度に中学校に新たに配置をし  
たいと要望をしているところです。

【奥田委員】しっかりとした対応をして、この問題が少しでも改善されればと思います。

【伊藤教育長】しばらく休憩を取ります。

～～約10分休憩～～

【伊藤教育長】それでは、お揃いですので、次の方に移ります。生涯学習課から説明をお願  
いします。

【成智生涯学習課長】続きまして重点施策、「心豊かで郷土を愛する人を育む生涯学習」を説  
明いたします。

— 「心豊かで郷土を愛する人を育む生涯学習」を説明 —

【伊藤教育長】ただいま説明のありました内容に対するご質問はありますか。

【西田委員】13ページの井原“志”民力の実態調査は、どのようなものですか。

【成智生涯学習課長】学校に依頼して、井原“志”民力に関する項目をいくつか挙げて、年

1 回調査をして、それをまとめて報告する予定としています。これは、ひとづくり事業になってからは、継続してやっています。

【伊藤教育長】 そのアンケート調査から意外と子供たちが井原のことを知らないことが分かってきて、もう少し井原の事を知る活動を入れていこうということになりました。

【藤井職務代理】 14ページの柱の4で大学との連携協定を締結したと思いますが、どの大学とどういった協定を締結するのですか。

【伊藤教育長】 協定を結んでいるのは、倉敷芸科大学で、これは新体操だけのつながりでしたが、包括的な方が良いだろうということで市と大学が協定を結ぶ形になりました。実際に井原高校からも1人芸科大学に入学しています。まだ同好会という形ですが、新体操の活動をしています。それ以外の部分でも、芸術部門を持っていますので、将来的には田中美術館が新しく建つと、新たな連携ができないかなと模索をしている段階です。

【西田委員】 15ページの公民館のところですが地域課題解決のための諸講座の開設とありますが、これは、公民館単位で新しい講座を作ってくださいということですか。

【成智生涯学習課長】 まちづくりに視点をおいて、地域の課題につながるような講座を計画してほしいと公民館長会議でも提案していきたいなと思っています。

【佐藤委員】 15ページの芸術活動のところ芳井生涯学習センターで毎年芸能人を呼んでいたものを予算の関係があって、隔年で市民会館とやることになって、隔年のしていない年は、地域で協力しあって小さいミニコンサートができればと思っています。

【奥田委員】 15ページのチーム夢源のところですが、先日開催された、ひとづくりフェスタで代表がステージに上がって、自分たちの活動を紹介する場を与えてもらい、パネラーとしてもまちづくりやひとづくりについて自分なりの意見を発表しているのを見てすばらしいことだと感じました。彼らの意見がこれからの井原市を作っていくのだから、彼らの思いや願いがどんどん生かされていくための大変良い機会だなと思いました。これからも彼らにこうした発表の場を増やしていくことで井原市の将来がより活性化していけば良いなと思いました。

【伊藤教育長】 他にはありませんでしょうか。無いようでしたら、次に文化課から説明をお願いします。

【高田文化課長】 続きまして重点施策、「個性ある地域文化を育むまちづくり」を説明いたします。

— 「個性ある地域文化を育むまちづくり」を説明 —

【伊藤教育長】 ただいま説明のありました内容に対するご質問はありますか。

【奥田委員】 山城のガイドマップは期待しております。いつ頃の完成予定でしょうか。

【高田文化課長】 編集の関係がありますので、秋以降の予定です。山城に入れるのは秋以降のほうが安全なので、その時期に出して、実際にそのマップを見て、山城を歩けるようなものを作りたいと考えています。市内に山城が30箇所以上ありますので、全部上げ

ることはできませんので、歩きやすいものや特徴的なものをピックアップできればと思っています。

【藤井職務代理】もし作るのであれば、現地に行っても迷わないように、標識の整備をしておかないといけないと思います。

【高田文化課長】地元の人であるとか、地権者に承諾を頂けるような場所も選ばないといけないと思います。

【藤井職務代理】新聞に県の大規模な山城の調査結果が特集で掲載されていましたが、県の調査がもとになるのですか。

【高田文化課長】県の調査が元になるので、市としても県の調査データを利用しながらと思っています。

【奥田委員】この間も文化財センターの講座で、地元の高屋の山城について詳しい説明をして頂いて、地元においても地域のことについてよく知らないことが多いなど改めて思いました。山城のことも近くにあることを調べたり、実際に行ってみたりして地域を愛する手立てとして必要だと思いますので、良いマップ作りに努めて下さい。

今、井原市全体の民話を本にまとめる計画で、調査を井原市全体で分担して実施しています。井原市には芳井と美星と旧井原市に合わせて3つの団体があって昔話の語りの活動をしています。昔から語り継がれている民話や昔の暮らしなどをまとめ、子ども達の教育にも生かしていきたいと思っていますので、教育委員会としても応援して頂いて、助成頂ければと思っています。地域を愛する子供を育てるためにも自分たちの地域に伝わる民話を知ってもらいたいと、色々取り組んでいますので知っておいて頂きたいと思います。

【佐藤委員】芳井町にもたくさんお寺があって、今度子供たちに芳井町の寺をめぐってもらおうと思っています。

【高田文化課長】寺について講座をすとか知識がある方を紹介することもできますので、声をかけて頂ければと思います。

【伊藤教育長】その他にご質問が無ければ、スポーツ課の方へ参ります。

【立花スポーツ課長】続きまして重点施策、「スポーツでみんなが輝くまちづくり」を説明いたします。

— 「スポーツでみんなが輝くまちづくり」を説明 —

併せて各種大会は、ガイドラインの遵守や感染症対策を講じながら実施していく旨を説明。

【伊藤教育長】ただいま説明のありました内容に対するご質問はありますか。

【伊藤教育長】最後に出ましたオリンピックの聖火リレーは、昨年度の計画では幼児・児童・生徒に沿道で見せてあげようと思っておりましたが、こういう状況ですので行わないという方向で考えています。

また、それと井原いきいきクラブでは、来年度に向けて受講生募集の方法を変えているので、その説明をお願いします。

【立花スポーツ課長】例年ですと3月中旬から随時募集という形でしたが、募集期間を2月15日から3月20日で一旦締め切ります。3月中に保険加入等々の事務処理を終わらせて4月から活動ができるようにしたいと思います。4月1日以降は、随時募集をかけていって、できるだけ会員の増加を図っていきたいと思っています。

【伊藤教育長】ご質問が無いようでしたら、教育総務課の方からお願いします。

【亀田教育総務課長補佐】最後の重点施策、『時代に対応した教育施設・機能の整備・充実』を説明いたします。

— 「時代に対応した教育施設・機能の整備・充実」を説明 —

【伊藤教育長】ただいま説明のありました内容に対するご質問はありますか。

【藤井職務代理】井原の学校給食センターと美星調理場の統合を視野に入れた備品整備とありますが、具体的に何年後というのはあるのですか。

【北村教育次長】まだ、そこまで具体的などころまでには至っていません。ただ美星の方が平成11年建て、井原の給食センターが平成10年建てなんですが、美星の方の水回りが非常に老朽化が激しくて、改修や設備についてももたない状況にあって、修繕を重ねている状態であります。また子供たちの数も減りますので、井原のセンターへ集約するのか新しいものを建てるのかを考えているところです。今後、検討していかないといけないと思っています。

【藤井職務代理】美星も独特の献立を作って、評判もいいところもあるんですが。

【北村教育次長】そのことは承知しています。一番は、アレルギー対策をどのようにしていくのかというようなことも含めて研究が必要です。

【伊藤教育長】他にはありませんでしょうか。他にご意見等ないようですので、ご意見のあった事項については事務局に修正を一任していただき、来月の定例会へ提出することとしてよろしいでしょうか。

— 異議なし —

【伊藤教育長】では、そのようにいたします。

以上で議事は終了しました。

(5) その他

【伊藤教育長】その他として、委員のみなさんから何かありましたらお願いします。

～ 意見なし ～

他にないようですので、事務局の方から何かありますか。

【亀田教育総務課長補佐】今回の議事録は、すべて公開として作成いたします。公開の可否は、次回の定例会で承認を頂きます。

- 各担当課長から教育委員会令和3年3月行事予定表により行事予定を説明 —
- 3月定例会を3月18日木曜日午後3時から開催することに決定 —

(6) 閉 会

【伊藤教育長】 以上を持ちまして、2月定例会を閉会とします。委員のみなさま、本日は長時間にわたりありがとうございました。